

大峰山道迷い(2020年3月)

「YAMAP」では登山道があるのでそのまま大峰山へ。道なりに進むが様子がおかしいので途中、地図アプリを再度確認し、来た道に戻った。



解説

YAMAPの登山道の赤線は通行量によって太さが異なっており、年間200人以上の通行量を太線。50～199人が中線。50人未満が細線で表している。

しかし、太線だからといって安全なルートではなく、ヤママップの注意事項に「太いルート＝安全なルートとは限りません」年間の通行量が多いルートは太く表示されますが、太いルートがすべて安全というわけではないということに留意してください。

とホームページに記載されている。それは、そのとおりで、特に都会に近い里山では、道が不鮮明でも多くの登山者がいてもおかしくはない。

私が講師をする読図講習会では、「何を使っても結構です。地図アプリを見てもいいです。しかし、地図アプリは使い方が重要で、①地図を見て先読みをする。②これから行く特徴物を現地で確認し特定。③地図アプリで答え合わせ。そうすると、読図の技術が更にアップします。」と伝えています。

皆さんも、地図アプリを使って、読図技術を身につけていただければ嬉しく思います。